

ケアする側をケアする空間 プラス認知症・介護予防支援

独立行政法人福祉医療機構（WAM）が行う社会福祉振興助成事業（WAM助成）は、国庫補助金を財源とし、高齢者・障害者などが地域のつながりのなかで自立した生活を送れるよう、NPOやボランティア団体などが行う民間の創意工夫ある活動などに対し、助成を行っています。

今号では、WAM助成を活用した特定非営利活動法人オレンジハートの取り組みを紹介いたします。

介護者のケアを目的に NPOを設立

鹿児島市にある特定非営利活動法人オレンジハートは、ケアする側をケアする空間「オレンジ・テラス」を運営し、自宅や施設などで介護をしている介護者の孤立防止や心身の健康維持、精神的な不安の軽減などに取り組んでいる。

同法人の活動は、母体となる七福神グループ（社会福祉法人天祐会）が介護・福祉事業を運営するなかで、自宅や施設などで介護に携わる介護者への支援や介護予防への取り組み

が不足していると感じたことから、ボランティア団体として介護者が気軽に相談や交流ができる居場所「オレンジ・テラス」を立ち上げたことに始まる。その後、約1年間の活動を経て、平成28年12月にNPO法人を設立した。

オレンジ・テラスの活動について、同法人担当者の鶴田智恵美氏は次のように語る。

「ボランティア活動としてスタートしたオレンジ・テラスは、『学び』、『癒し』、『交流』という3つのテーマのもと、介護疲れやストレスに起因した介護者による虐待防止や精神的な負担軽減を図るための心身の健康維持に関する講座や相談対応などを、鹿児島市内の介護施設や集会所などに出向くかたちで月1回開催してきました。このような取り組みを続けるなかで活動が地域に浸透し、参加者から開催回数を増やすことに加え、認知症・介護予防の取り組みへの要望が多く寄せられました。これらの要望を受けるかたちで常設型のオレンジ・テラスを設置し、認知症・介護予防講座などのプログラムを充実させるとともに、活動を県内全域に広げていくことに取り組み

ひと言

WAMから

介護者の支援という明確な目的を掲げ、自団体のもつ高い専門性と連携する関係団体等の強みを生かし、事業に取り組みました。

常設型オレンジ・テラスでは、認知症と介護予防の講座・交流カフェの実施により介護にかかる悩みと不安を相談できる場を提供しました。また、出張開催型オレンジ・テラスで、県内の各地域に展開することにより連携先が増え、事業の広がりを持たせることができました。県内の連携先が自主的にオレンジ・テラスと同様の活動を行うなど、本事業が地域社会に与えた影響は大きなものであると高く評価しています。

組みました」（以下、「」内は鶴田氏の説明）。

常設型オレンジ・テラスを設置し プログラムを強化

これらの取り組みは、平成29年度のWAM助成を活用し、介護者支援「オレンジ・テラス」事業として実施した。

同事業では、いつでも気軽に相談や交流ができるオレンジ・テラスの活動を県内に広げていくことを目的に、①常設型オレンジ・テラス、②出張開催型オレンジ・テラス、③活



動報告会、④活動写真集の作成・配布などを
実施した。

常設型オレンジ・テラスは、鹿児島市易居
町にある空き店舗を借り受け、介護者や地域
の高齢者の心身の健康に役立つ各種プログラ
ムやワークショップ、相談会を実施した。

オレンジ・テラスは、祝日を除く月々金曜
日の9時半から17時半まで開設し、介護福祉
士等の資格を有するスタッフが常駐するほ
か、多くのボランティアが活動に参加した。
基本的な活動の流れとしては、午前中に認知
症・介護予防などに関する各種プログラムを
行い、午後は交流カフェを設置し、利用者同
士の交流の場を提供するとともに、相談会を
開催している。

認知症・介護予防のプログラムでは、ヨガ
やピラティス、カラーセラピー教室をはじめ、
タブレットを用いた若脳トレーニングなどの
多様なメニューを実施した（各月2回程度）。
また、介護者の不安や悩みを軽減するため、



常設型オレンジ・テラスでは、ピラティ
ス教室などさまざまな認知症・介護予防
講座を開催。受講後は交流カフェで参加
者同士が交流したり、スタッフに介護の
悩みや福祉サービスに関する相談ができ
る体制をつくった



介護・生活相談として「認知症介護者相談」
や「高齢者向け施設入所・福祉サービスの利
用相談」のほか、転倒予防に向けて正しい歩
行や靴選びを教える「足の健康相談会」、聴
力測定や補聴器のメンテナンス方法を教える
「聴こえの相談会」などを定期的に開催した。
さらに、地域交流や生きがいづくりを目的
に、ブリザードフラワーや絵手紙教室、筆文
字やエンディングノート講座などのワークシ
ョップを開催した。

オレンジ・テラスの大きな特徴として、こ
れらの各種プログラムの講師や専門的な相談
の対応には、地域の
介護事業者やN P
O、支援団体、民間
企業の協力を受け、
地域と協働しながら
介護者のケアをして
いることがあげられ
る。

事業概要

助成額

386万6千円

平成29年度事業

特定非営利活動法人オレンジハート

介護者支援「オレンジ・テラス」事業

【事業概要】

介護疲れやストレスに起因した介護者による虐待防止、介護職員の離職防
止、介護予防を目的に、介護者を対象にした居場所を開設し、悩みの相談
や心身の健康維持に取り組むとともに、地域の高齢者に向けて認知症・介
護予防プログラムや地域交流の場を提供する事業



【実施内容】

◆常設型オレンジ・テラス

介護者の孤立防止や心身の健康維持、負担
軽減を図ることを目的に、常設型の居場所
「オレンジ・テラス」を設置し、認
知症・介護予防プ
ログラムやワーク
ショップ、介護職
員向けセミナーの
ほか、気軽に相談
できる交流カフェ
などを実施



◆出張開催型オレンジ・テラス

介護者支援と認知症・介護予防の活動を広
げることを目的に、行政や支援団体と協働し、
県内9地域で出張開催型のオレンジ・
テラスを開催

◆活動報告会・活動写真集の作成

活動の主旨や内容を広く伝えることを目的
に活動報告会を開催するほか、事業内容や
成果をまとめた活動写真集を作成し、行政
の担当課や連携・関係団体等に配布

【成果】

◆常設型のオレンジ・テラスの利用実績は、
認知症・介護予防の各種プログラム（計
120回）に約200人、ワークショップ
（計21回）に約100人、介護職員向け
セミナー・ディスカッションに約50人
が参加

◆気軽に相談できる交流の
場として地域に浸透し、
介護者や高齢者にとどま
らず、障害者や若
年性認知症の
当事者・家
族などの参
加もあり、
支援対象者の
拡大につ
ながった



◆県内9地域で実施した「出張開催型オレンジ・テラス」は、計400人以上が参加。
連携先や活動範囲が広がるとともに、同
様の活動を自主的に開催する地域も生まれ
た

離職防止を目的に 介護職員向けセミナーを開催

そのほかにも、オレンジ・テラスでは介護
従事者の離職防止を目的とした介護職員向け
「セミナー&ディスカッション」を開催し、
グループ法人にとどまらず、多くの他法人の
介護職員が参加した。

全4回開催したセミナーでは、自身のスト
レスケアをはじめ、コミュニケーションやモ
チベーションアップ、やる気を引き出す手法



などをテーマにした講義を行い、受講後は参加者同士で意見交換を行った。

「組織や利用者さんとの関係で気持ちが落ち込んでしまう介護職員は少なくありません。セミナーではどのようにして気持ちを前向きにしていくなかというを中心に学びました。また、同じ法人の職員同士では内容によつては話しにくかったり、研修という形式になりがちですが、他法人の介護職員同士が『このようなケースではどうしている?』と対応方法などでも気兼ねなく本音で話すことができるので、互いに共感しあえたり、関係性がつ

くりやすい環境があります。悩みの相談もできるので精神的な負担軽減にもつながっています」。

セミナーの受講後は、法人の枠を越えた介護職員同士のネットワークが生まれ、セミナーの開催日以外に交流カフェに集まり、情報交換やコミュニケーションの場として活用しているという。

常設型オレンジ・テラスの利用実績(平成29年5月～30年3月)は、認知症・介護予防講座(計120回)約200人、ワークショップ(計21回)約100人、介護職員向けセミナー

&ディスカッション(計4回)50人であった。交流カフェには、介護者や地域の高齢者にとどまらず、障害者や制度の狭間に陥りやすい若年性認知症の当事者・家族などの参加もあり、誰でも気軽に相談できる居場所として利用の対象者が広がっている。

県内9地域で 出張開催型オレンジ・テラス実施

介護者支援と認知症・介護予防の取り組みを広げることを目的とした出張開催型オレンジ・テラスは、各地域の行政や介護・福祉事業者、支援団体等と協働し、県内9地域(鹿児島市、始良市、霧島市、薩摩川内市、南九州市、指宿市、南さつま市、いちき串木野市、鹿屋市)で開催した。

「鹿屋市については、当初は計画に入っていないままでしたが、出張開催型オレンジ・テラスの情報を聞き、開催の要請を受けるかたちで実施するなど活動への関心が高いことがうかがえました。また、開催にあたっては、各地域の行政や支援団体の協力を受け、介護に関する悩みや不安を相談できる交流カフェをはじめ、認知症・介護予防に効果のあるトレーニングやレクリエーションを体験できるブース、ハンドマッサージやアロママッサージなど心身のリフレッシュに関するブースなどを出店してもらい、各地域で活動している人たちが運営することにより、それぞれの地域が独自に活動を継続してもらえることを目指しました」。

出張開催型オレンジ・テラスの来場者数は



各地域の行政や支援団体と協働し、県内9地域で実施した「出張開催型オレンジ・テラス」(写真は串木野会場)。開催後、自主的に活動を継続する地域もあり、活動が広がりをみせた



介護職員向けセミナーを受講する参加者の様子。他法人の職員がストレスやモチベーションアップなどについて一緒に学びながら、意見交換を行うことにより互いに共感しあった

活動を広く周知することを目的にした活動報告会には、介護者や一般市民など35人が参加



地域住民の交流や生きがいづくりを目的に、絵手紙や筆文字、プリザードフラワー教室などのワークショップも併せて実施した



計400人近くへのぼり、なかでもいちき串木野市の会場では行政が積極的に広報活動を行い、大規模会場を確保してくれたほか、障害者支援事業所などの参加もあり、約180人が来場した。さらに、開催後は始良市で社会福祉協議会が主催するイベントのなかで自主的にオレンジ・テラスと同様の活動が継続されるなど、広がりをみせている。

支援団体が互いの強みを活かした連携を推進

同法人が各地域の行政や福祉・介護事業所、支援団体と円滑に連携することができる要因として、オレンジ・テラスの活動に賛同し、コーディネーターとして運営に協力しているNPO法人地域ケア交流会の存在が大きいという。

地域ケア交流会は、福祉の職場づくりをテーマに活動している支援団体で、多くの福祉・介護事業者が参加するイベント「福祉フェスタ」などを主催し、県内に広いネットワークをもっている。このイベントを通じてオレンジ・テラスの活動を紹介したり、出張開催型オレンジ・テラスの開催地で連携先との調整をする役割を担うことで、互いの団体の強みを活かした連携を進めることが可能になっている。

さらに、今回の助成事業では、活動の主旨や内容を広く伝えることを目的に活動報告会を開催したほか、事業内容や成果をまとめた活動写真集を作成し、行政の担当課や連携・関係団体等に配布した。

活動が県内全域に広がるようサポート

特定非営利活動法人オレンジハート
理事長 飯田 美智代氏



出張開催型のオレンジ・テラスは、各地域の行政や支援団体に協力してもらい、県内9地域で開催することができましたが、WAM助成を受けたことで実現できたと思っています。

今後も県内全域に活動を広げていくとともに、各地域が自主的に同様の活動ができるようサポートしていきたいと考えています。

WAM助成は、助成額が大きく、今回の事業のように広域で活動するケースでは非常に助かります。また、行政や福祉関係者であれば、皆さんがWAMをご存知で事業に対する信頼が得られるため、連携をお願いする際にもしっかりと話を聞いてもらえるなど協力が受けやすくなります。とくに行政関係者は、それが顕著で地域の事業者やキーパーソンを紹介していただけなので、ネットワークを広げることができます。

◆団体概要

〒890-0043 鹿児島市鷹師 2-5-2
TEL: 099-202-0729
FAX: 099-203-0729
URL: https://729729.jp/service_orange.php
設立: 平成28年12月
理事長: 飯田 美智代

社会福祉振興助成事業に関するお問い合わせ

●NPO リソースセンター

NPO 支援課 (助成事業の相談・募集、NPO の融資相談等)
TEL: 03-3438-4756 FAX: 03-3438-0218 (共通)

NPO 振興課 (助成事業の広報、事業評価等)
TEL: 03-3438-9942 FAX: 03-3438-0218 (共通)

支援対象者と活動範囲が拡大

助成事業の成果としては、常設型オレンジ・テラスを開設し、介護者が気軽に相談や交流ができる「ケアする側をケアする空間」に加え、地域の高齢者が要介護状態にならないよう認知症・介護予防に取り組む仕組みづくりが構築できたことがあげられる。

「当初、想定していた介護者や高齢者にとどまらず、障害者や若年性認知症の方など対象範囲が広がるとともに、他地域で開催することで連携先が増え、同様の取り組みが始まるなど活動が広がったことは大きな成果だと感じています」。

助成事業で実施した常設型オレンジ・テラスは、平成30年度から母体の七福神グループ

が運営するグループホームの1階に移転し、現在も運営を継続している。今後の展望としては、さらにオレンジ・テラスの活動を県内全域に広げていくとともに、若年性認知症の支援についての普及・啓発活動にも力を入れ、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいきたいとしている。

NPO等の民間福祉活動への応援よろしくお願いします!

寄付金のお願い

当機構では寄付金を募集しています
お問合せ先: 03-3438-0211 (総務部総務課)

